

## 第2次奥州市総合計画後期基本計画（案）に対するパブリックコメント（意見募集）手続きの結果について

### 1 パブリックコメント（意見募集）手続きの実施概要

(1) 意見募集期間：令和3年10月1日（金）～10月20日（水）

(2) 閲覧場所：市ホームページのほか、奥州市役所政策企画課、各総合支所地域支援グループ

(3) 意見を提出できる方：市内に在住、勤務、通学している方

(4) 意見の提出方法：住所、氏名等を明記し、「郵送」、「持参」、「FAX」、「電子メール」のいずれかの方法による。（電話・口頭受付不可）

### 2 意見の提出状況

提出者6人（意見数27件）

### 3 意見の内容とそれに対する市の考え方

番号	計画案ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
1	29	「4 自由に学べる環境をみんなに」のアイコンについて、学習に関するものとして本棚のイラストになっているが、これからの時代はタブレットなどICTを活用した時代になる。 国連版も紙ベースのものであるので、奥州市版もそのようなデザインにしたのかもよけれないが、将来を見据え、このことを盛り込んだ表現があってもいいのではないか。	総務企画部	ご指摘のとおり、今後、タブレットなどICTを活用した時代の教育となることは承知しているところ。一方、例えば携帯電話がスマートフォンになるなど、媒体そのものの形は短期間で変化が著しく、デザインとして表現した際、数年後に今の形のタブレットが主流ではなくなり、結果として奥州市版SDGsのデザインを見直さなければならなくなる可能性が考えられます。このことから、昔からあり、今後も色あせることの無い紙ベースのデザインとして表現させていただいたものです。
2	29	奥州市版SDGsの策定について素晴らしいと思います。 そのうえで合わせて国際版SDGsとの関係、関連性、奥州市版SDGs策定の理由、目的、使用方法などを記載してください。 一般的な利用の仕方や関係性が分からないと、すでに国際版SDGsに取り組んでいる場合、どのように利用すべきか、奥州市版SDGsに協力すべきかわかりません。 「要素を含んだ」より「リンクした」では？	総務企画部	奥州市としてもSDGsの取組を進めたいと考えております。 SDGsは世界的な取組であり、地域ごとに取組むべき課題が異なるとともに、解釈も人それぞれであるため、関係者の共通理解を図る必要があると考えます。 このことから、こどもからお年寄りまで、SDGsをより身近なものとして捉え、市民がひとつとなってSDGsに資する取組を推進していけるよう、SDGsに市の特徴を取り入れるなど、なじみやすいものとした「奥州市版のSDGs」を作成したものです。 総合計画へも、このことについて追記し、より詳しい説明資料を資料編に掲載いたしますが、具体的な奥州市版SDGsの活用につきましては、今後、市の将来を担う世代や協働の担い手、連携企業などの多様な主体の意見を取り入れながら、普及方法や具体的な方策を検討してまいります。
3	107	令和2年度の現状値13回に対し、目標値が過大ではないか。 食品ロスに関する周知活動は必要であるとしても、要望により開催する方式、及びコロナ禍の中で、果たして60回も実施が可能であるか検討されたい。 環境報告書等の状況をみると、20回程度を目標としてもよいのではないか。	市民環境部	コロナ禍、そしてコロナを前提とした新しい生活様式を意識し、今後の普及啓発活動を精査しました。 ご指摘いただいた点を踏まえて、目標値を現実的なものいたします。 普及啓発の取組につきましては、多角的に実施してまいります。

番号	計画案ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
4	108	<p>カーボンニュートラル 2050 ゼロの方針が政府よりありましたが、その達成の為に、各都道府県そして各市町村へ、何らかの圧が降りるものと考えますが、それに対し[小水力発電]の普及を提言いたします。</p> <p>ザクツとの利回り関係ですが、添付の発電所においては、            総工事費 1億円 うち補助金 8千万円            実質工事費 2000万円</p> <p>年間売電収入 500万円×16年 計8000万円</p> <p>多少不明な項目は、東北電力との系統連系負担金とFITの価格変動で御座います。</p>	総務企画部	<p>小水力発電のみならず、再生可能エネルギーについては様々な方策があると考えております。</p> <p>小水力発電については、施設整備による自然環境や景観、生活環境への安全性など、エネルギー開発がもたらす様々な影響に配慮をしながら、導入ポテンシャルが高い河川を見極めつつ、今後の方針について検討してまいります。</p>
5	5,6	<p>施策の大綱は、総体的にまちづくりに必要なことについて掲げることは必要ですが、ともすれば所謂、「幕の内弁当」的になって、従前踏襲の印象がぬぐえないものになりがちです。そこで、特に「力点を置く施策」を前面に掲げる表記にすべきです。</p>	総務企画部	<p>施策の大綱は基本構想で定めているところですが、まちづくりの全体計画として総花的になることは、その性質上ある程度やむを得ないことと捉えております。</p> <p>市勢発展のため、基本構想では「人口プロジェクト」と「ILCプロジェクト」の2つの戦略プロジェクトを掲げており、重点施策と位置付けて推進するものです。</p>
6	52	<p>学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績が良い子供が多くいるまち—奥州を標榜</li> <li>標準学力の抜本的な向上による確固たる(親も、児童・生徒も)</li> <li>自信の涵養 学力向上に専念するための複数教員の確保(自主財源対応)</li> <li>・「いじめのない子供時代」を過ごせる街—奥州 の標榜。「いじめ対策組織」の新設「教育委員会内設置ではなく、市長部局に」</li> </ul>	健康こども部 教育委員会	<p>現在、市長部局では「奥州市子どもの権利に関する条例」に基づく、子どもの権利推進計画を策定し、「いじめ」問題も含めた、子どもの権利を守るための取り組みを進めております。</p> <p>当市では、「わかる・できる」をキーワードに確かな学力の保障に努めております。具体的には、諸調査の結果分析、「確かな学力」を育成するための授業づくりにおけるポイント提示、教員の指導力向上に資する研修の充実などを通し、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善に取り組んでおります。結果として、各種調査の結果が向上することを期待しております。</p> <p>また、市費負担で学習における支援員や司書を配置しており、学習指導の充実を目指しております。</p>

番号	計画案 ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
7	64	子育て環境 ・子供に夢を与える会の結成(会員を応募) 報酬を伴う組織ではなく、年に何回でも開催できる、フレキシブルな組織。目的は、子供が将来に夢が持てる奥州市の創造のための運動の推進 ・ネグレクトのないまち—奥州を標榜 施策の充実	健康こども部	ネグレクトを含めた児童虐待の未然防止、早期発見のための相談体制の充実に努めておりますが、更なる虐待対策として「子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討してまいります。
8	66	安心して出産できるための支援 ・100%の満足度達成	健康こども部	身体面や精神面、家庭環境などにおいて不安や課題を抱えている妊婦もおり、妊婦やその家族に寄り添った支援が必要です。すべての妊産婦に対して、関係機関と連携した相談支援による切れ目のない支援を実施し、満足できる妊娠・出産となるよう取り組んでまいります。
9	70	自殺死亡率対策の拡充	健康こども部	心の相談窓口リーフレット配布、50歳男性のこころの健康度チェック、中学生のための命の大切さを考える講演会、ゲートキーパー養成事業などの取り組みを実施してまいります。
10	74	介護サービスの充実 ・介護事業従事者の収入増施策(自主財源)	福祉部	介護施設等では、今なお介護職員等の人材不足が続いているため、人材の安定的な確保と、質の高いサービスの提供ができるよう、介護職員等の報酬等を含めた抜本的な処遇改善や人材確保等の対策・支援について、国へ引き続き要望してまいります。
11	80	市立医療機関再編・充実 ・従来の医療機関の当面継続 ・医師確保対策は、全市民による「医師招へい協議会」の設置と実働(協議会会費で運営) ・医師給与は、現在の2倍支給を。予算はクラウドファンディング的手法で対応	医療局 経営管理部	市立医療機関のあり方については、市民説明会等で寄せられた意見と合わせ検討してまいります。医師確保対策に係る意見は参考とさせていただきます。

番号	計画案 ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
12	94	企業誘致の推進(雇用の場確保策、税収確保策) ・非製造業企業、中小サービス業等も積極誘致	商工観光部	北上川流域地域に集積する自動車、半導体産業はすそ野の広い産業であることから、当市の企業誘致のメインターゲットとしております。この間、これらの業種を中心とした製造業の積極的な誘致により、製造品出荷額は5年前と比較して約1.6倍となっているとともに、雇用の創出についても約1,000人増加している状況にあります。引き続き大規模な投資、雇用が見込まれる製造業を中心とした誘致を進めるとともに、既立地企業との相乗効果を働かせながら、市全体の発展に繋がるよう、施策を進めてまいります。 なお、製造業以外の企業の誘致にも取り組んできたところであり、卸売業、倉庫業、運送業など、様々な業種の企業が立地しております。
13	95	観光・物産の振興 ・大谷選手の「ブランド商品」の開発(プランナーは中学生・高校生)販売は、国内外を意識して	総務企画部	大谷選手の商品開発については、権利の関係もあるため、市が直接開発・販売等を行うのは難しいものと考えます。これまで同様、応援につながる活動を推進してまいります。
14	108	環境問題対応 ・カーボンニュートラル施策の具体計画策定(市民組織で) ・再生可能エネルギー導入への助成拡充	総務企画部 市民環境部	再生可能エネルギーについては様々な方策があると考えております。地域産業の活性化につながる再生可能エネルギー利活用について、今後の方針を検討してまいります。
15	-	「自動車の自動走行」による、高齢者対応・介護対応等への実験事業を「官学産」の共同事業で実施	総務企画部	実証実験等を伴う先進的な取組みについては、第3次バス交通計画との整合を図りながら、国、県の動向に注視しつつ、企業及び大学等との連携の可能性を探ってまいります。
16	-	市街地活性化事業 ・駅通等の空き商店の活用—まちに本屋がない街からの脱却 「シェア本屋」の開店助成事業(本屋をシェアする文化の発信基地の創造)	商工観光部	市では、水沢、江刺、前沢の商店街に新規出店する場合に活用できる補助制度を既に準備しており、ご提案いただいた「シェア本屋」の出店も対象となり得ます。「シェア本屋」のようなアイデアを持っている方々にも制度を知っていただけるように周知を図ってまいります。

番号	計画案 ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
17	-	全職員が「心一つ」にして市民の先頭に立つ心意気を市民に示すことが肝要。そして、職員人事の年功序列からの脱却及び女性職員の「積極的な登用」	総務企画部	各種研修の実施等を通じ、引き続き、リーダーシップを担う人材育成に努めてまいります。 また、人事評価結果の活用等を通じ、引き続き、年齢、性別等に捉われない人事・登用に努めてまいります。
18	-	アウトソーシングの導入による職員削減による経常経費の削減 ・すべての事業を対象に検討、重点事項は以下の通り ○福祉事業 社会福祉協議会に。その際の前提条件は、福祉協議会が実施している「介護保険事業は取りやめ、既設の他の事業所に振り分ける。 ○商工関係事業 企業誘致、物産、観光関係を商工会議所、観光物産協会に。	総務企画部 財務部 福祉部 商工観光部	合併時に1,467人だった職員数は、令和3年4月1日に1,059人となり、408人の職員削減を実現してまいりました。 「奥州市定員管理計画」に基づき、引き続き、適正な職員数の確保に努めてまいります。  次期行政経営改革プランにて、施設運営の効率化及び民間運営の推進、また事務事業の民間委託と民営化も併せて進めながら、アウトソーシングの推進に取り組んでまいります。  生活困窮者自立相談支援事業や権利擁護推進事業など多くの事業において、社会福祉協議会の専門性を活かして福祉事業を実施している現状があります。今後も地域共生社会の実現に向け、アウトソーシングの観点も含めて、連動して事業を実施してまいります。  商工関係事業につきましては、商工会議所や観光物産協会等、歴史と実績を持つ各関係機関と連携して取り組んでいるところです。 業務のアウトソーシングについては、行政経営改革プラン等の方針に沿って、必要に応じ検討してまいります。
19	-	官民による合同事務所の設置 ・メイプルに以下に掲げる施設を拠点化として移す。 その理由は、メイプルへの管理費支出の合理性、市民・関係者へのワンポイントサービス。 老朽化の商工会議所ビル対応 名称 ○「奥州市幸せ福祉センター」 市福祉部、福祉協議会、関係団体 ○「奥州市産業振興センター」 市商工部、商工会議所、観光物産協会	商工観光部	メイプルは水沢地域における中心市街地の核施設である大型商業施設です。一方で、地階には多数の公共的機能が集約されており、現在も各種の市民サービスを提供しています。 公共的機能の集約は、ワンストップサービスにつながることから、市民への利便性を更に向上させるものでありますが、それぞれの団体等の事情や考え方もありますので、今後の検討課題といたします。

番号	計画案 ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
20	－	<p>少子化対策について</p> <p>国の少子化対策大綱(2020.5.29閣議決定)―「新しい令和の時代にふさわしい少子化対策」の基本的な目標には、(希望)出生率1.8の実現や結婚、妊娠・出産、子育てに希望を見いだせるとともに、希望する時期に結婚でき、かつ、希望するタイミングで希望する数の子供を持てる社会をつくる、と掲げられております。</p> <p>この基本的な目標に基づき、市としての具体的な計画策定と実施をしていく。その際、市民や有識者等々、幅広い層からなる計画策定委員会(仮称)の設置。実施事後の検証・評価等、進捗状況とその効果を不断の見直しも行う。</p>	総務企画部	<p>奥州市の少子化対策については、人口減少対策の具体的な計画として「第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を令和2年3月に策定しており、この中の「基本目標2 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ」の内容に基づき、推進することとしております。</p>
21	－	<p>市民アンケートで特記すべきは、「子育て環境」におけるフリーアンサーです。</p> <p>他の項目に比較して、44件、そして他の項目におけるフリーアンサーにおいても、子育てに関する意見提言が圧倒的な数で寄せられております。如何に、子育て環境整備が喫緊かつ最重要のまちづくり施策であるか、ということが、市民の思いであることを伺い知ることができます。</p> <p>従って、勿論「幕の内弁当」的な総合計画は必要です。けれども、市民にとって何が他に比較して、何をもちて誇りをもつて住み続けられるか、「住まいは奥州市です」と子供から高齢者そして障がいのある人・健全な人、全ての市民が胸を張って語ることができるまち、それは、市民にとって納得がいく、他にはない「特徴的・解りやすい施策」によるまちづくりの推進が今こそ、求められていると思います。</p> <p>アンケートは、とても大切です。意見・提言を寄せた市民は、市の結果を注視しております。</p> <p>「子育て環境整備」を今次計画の、最重要施策に位置付けることを提案いたします。</p>	総務企画部	<p>前期計画と同様に、市勢発展のための戦略プロジェクトとして「人口プロジェクト」を基本構想で掲げており、子育て環境に優れたまちづくりを進めます。そして、その具体的な取組みとして、「第2期奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を位置付け、推進することとしています。</p> <p>また、例えば、後期計画における「子育て環境整備」の具体的な施策としては、認定こども園の子育て支援機能の強化や、子育て支援事業利用者支援員の配置などを盛り込むこととしており、重要施策として取り組んでまいります。</p>
22	20	<p>&lt;ワークショップTNGRで出された現状の課題について、その背景を掲載できないか&gt;</p> <p>出された課題は従前から言われているものが多く、掲載の文面のみでは読み手に軽んじられかねない気がする。紙面の都合はあるが、課題の内容についてのワークショップでの認識を何点かでも挙げてはどうか。</p> <p>例：奥州市にはたくさんいいもの…何が、なぜ、いいのか。</p> <p>子どもが遊べる場所…何歳くらいの子が、誰と、どのように遊ぶことをイメージしているのか。</p>	総務企画部	<p>ワークショップにおける発言内容等については、総合計画本編の紙面の都合もあることから、より詳しく整理した実施結果報告書を資料編に掲載する予定です。</p>

番号	計画案ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
23	29	<p>&lt;部門別計画とSDGsの関係について見直すべきではないか&gt;  SDGs(以下「国連版」)の全目標について、これに対応させる形で奥州市版を作成したと思われるが、その内容を見ると国連版とは別のものである。  部門別計画を国連版の全目標に対応させる必要はないのではないかと。どうしても現在の形で奥州市版を位置付けたいのであれば、「国連版の各目標」をどのような意図で「奥州市版の各目標」に「転換」したのかを述べるべきである。これがないと、単に「やらなきゃならないから載せたな」というようにとらえられかねないと思う。</p>	総務企画部	<p>奥州市としてもSDGsの取組を進めたいと考えております。  SDGsは世界的な取組であり、地域ごとに取組むべき課題が異なるとともに、解釈も人それぞれであるため、関係者の共通理解を図る必要があると考えます。  このことから、こどもからお年寄りまで、SDGsをより身近なものとして捉え、市民がひとつとなってSDGsに資する取組を推進していけるよう、SDGsに市の特徴を取り入れるなど、なじみやすいものとした「奥州市版のSDGs」を作成しました。  総合計画へも、このことについて追記し、より詳しい説明資料を資料編に掲載いたします。</p>
24	88	<p>商工業振興は、税収に直結する問題です。財政が危機的な当市の優先順位から言えば「企業誘致の推進」という施策が筆頭にこないのは危機感のなさの表れのように見えます。  ダメな子に頑張れ頑張れという施策よりも、できる子連れてきて稼いで貰う施策に注力したほうが即効性あります。  その意味で「企業誘致の推進」を末尾に置かず、筆頭の施策にすべきと思います。  企業誘致に際し、この「コロナ禍の企業環境変化」は奥州市への追い風です。  1. 都会リスクが顕在化した  ①通勤に際して公共交通機関での密集が感染リスクにつながる。➡奥州市:基本的にマイカー通勤可能  ②帰宅途上の歓楽街や飲み屋も感染リスクにつながる。➡奥州市:歓楽街の誘惑が少なく直接帰宅が増える。  2. テレワークの受け入れが進んだ  ①製造業にかかわらず、IT産業などの3次産業でも本社の地方移転が起きている。(誘致対象企業が拡大している)  ②通信回線の高速化と価格低下が進み、当地でもその恩恵に十分あずかれる。  3. 従業員と家族の人生を重視  ①仕事により従業員の家族を犠牲にせずに、家族の生活や子供の成長を重視すれば、広い家でかつ少ない通勤時間で家族や子供とともに成長できる奥州市での生活は、都会にないこれからの社会の理想形に近い。(例)大谷翔平の家族。</p>	商工観光部	<p>体系図の順番と施策の重要性に関連はありませんので、現行のままとさせていただきます。  なお、企業誘致施策につきましては、ご意見にもありますとおり、重要な施策であると考えております。直接的な投資のほか、既存企業との取引による地域経済の活性化や雇用の拡大、市民所得の増加、地域活力の向上など、税収のみならず多様な効果が見込まれます。  また、誘致企業が市内に定着し多様な効果を持続的に生み出すためには、必要な機材や資材、部品、原材料、サービスなどの売り手である地域内サプライヤー企業の集積や技術力・生産力の向上が必要不可欠であり、既存企業の育成や持続的発展も重要な施策の一つと考えております。</p>



番号	計画案ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
25	96	<p>4-3-1 観光客誘致の促進</p> <p>① 広域観光ルートの確立と奥州市らしさを活かした観光客誘致応援します。活動推進にあたっては以下の点もご留意頂きたい。</p> <p>(1) 担当課長は、日頃から公共交通機関を使って、各ルートを回ってみてください。観光客の来ない原因と改善点に気づくはず。</p> <p>(2) JRフリー切符(例、小さな旅ホリデーパス)、新幹線回数券やパッケージツアーに奥州市が外されています。これでは観光客は来ません。何故こうなのか、JRや発行会社と真摯に話し合い改善できるところは改善すべきです。</p> <p>(3) 史跡までの途中ルートの看板や、史跡の説明看板が不十分なところが見受けられます。県が「黄金の國、いわて。」キャンペーンをしているといいながら、金鉱山跡地のパンフや看板が不十分。当市でも大小40か所はあるといわれる金鉱山へのルート案内板も現地看板もほとんど未整備でたどり着けませんでした。</p> <p>(4) テーマごとに観光情報をパンフ又はWEBに纏め、いろんな団体の要望に適時に提案できるようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アテルイとエミシ関連ツアー</li> <li>・胆沢城関連ツアー</li> <li>・安倍氏/奥州藤原氏関連ツアー</li> <li>・金鉱山ツアー。</li> <li>・壽庵・キリシタン関連ツアー。</li> <li>・茂井羅堰・壽庵堰・穴山堰・葦名堰・徳水園・蛸の手etc利水開発史ツアー</li> <li>・三偉人+大瀧詠一+大谷翔平関連。 などなど</li> </ul>	商工観光部 教育委員会	<p>市では、奥州市内の観光関連団体と「奥州誘客促進会議」を組織し、現在、通過型観光から滞在型観光への転換を目指し、民間主導による旅行商品造成モデル事業に取り組んでおり、奥州市の観光ゴールデンルート開発を進めております。また、市内の観光関連団体事業者の連携による市内に宿泊しないと体験できないようなコンテンツづくりやマイクロツーリズムに対応する旅行商品造成等を支援しております。</p> <p>このような取組みの中で、観光客目線での観光情報の発信につきましても、いただいたご意見を参考としながら改善に努めてまいります。</p> <p>(3) 案内板、説明板の設置については、国、県、市指定史跡を優先しており、現在は国道4号線沿い等に案内板を、現地には説明板を設置しているところです。</p> <p>今後は、ホームページ上に、史跡所在地、説明をより一層分かりやすく掲載してまいります。</p> <p>(金鉱山跡につきましても、史跡ではなく、また国有林等に所在しており、経路には危険な場所が多いことから、積極的な公開はしていません。)</p>
26	115	<p>基本方針中「新たな道路整備から既存道路の維持への転換」</p> <p>お金がないということは理解できますが、新たな道路整備を全く放棄するのはいかがなものかと思えます。例えば、市立病院を統合し、旧診療所の機能を統合した場合、市内全域から新病院までのアクセス時間を短縮する道路整備は必須と思えます。</p> <p>大規模圃場整備や耕地整理などのタイミングをとらえて、あまり資金をかけずに、曲がった道路を広い直線道路に付け変えとか、使えるものがあれば農道や高速道路の側道や河川堤防を利用整備拡充してでも地域拠点-新病院間の道路を極力直線化するとか、各道路間の優先関係を見直して地域拠点-新病院間のアクセス時間を短縮する努力をしてほしい。法規上や管轄上の問題はあと思うが、関係機関と十分協議して。</p>	都市整備部	<p>新市立病院へのアクセス路として整備が必要な路線やほ場整備に併せた道路改良は今後も実施していく予定です。</p> <p>市では2,900キロメートル以上の道路を管理しておりますが、老朽化が深刻な問題となっていることに加え、地区要望では生活道路に関する要望が数多く寄せられています。</p> <p>今後も、限られた財源の有効活用を図りながら、道路環境の充実を図ってまいります。</p>

番号	計画案 ページ	ご意見等	担当部	市の考え方
27	116	<p>施策の方向① 道路の整備推進  「奥州市道路整備計画に基づく道路整備を進め、併せて渋滞解消をはじめとする利便性の向上を図るとともに、緊急車両の通行の確保など、防災機能の向上を目指します。」としてはどうでしょうか。</p> <p>説明：基本方針の現状と課題に渋滞解消の要望が出されており、これに対する具体的な取り組みが不明確かと思えます。日常的・恒常的に発生する渋滞の原因を究明し、対策を打っていくことが大切。このことができるか否かにかかわらずこの検討が将来の道路計画にもつながってくると思えます。  渋滞は移動時間の大きな部分を占めます。合併により手続きのために近くの役所じゃなくて遠くの役所や病院まで移動を求められる住民には、この移動時間のストレスにより「合併しなきゃよかった」という強い不満につながる可能性があります。移動時間短縮効果で移動のストレスを感じないように道路を改善していくことも大事なことだと思います。中には道路整備計画には載ってないような渋滞が出てくれば、そこも処置しなければならないこともあると思えます。</p>	都市整備部	<p>奥州市の渋滞解消としては、国道4号水沢東バイパスをはじめとした「③国道・県道の整備要望」に含まされていると考えます。  市道の整備として寄せられる要望は、渋滞解消に限らず、多種多様なものがありますので、それぞれに応じた対応を検討してまいります。</p>